

SIMPLIA ご紹介資料

SIMPLIA/ADJUST制御文生成ユーティリティ

(ADJUST制御文生成ツール)

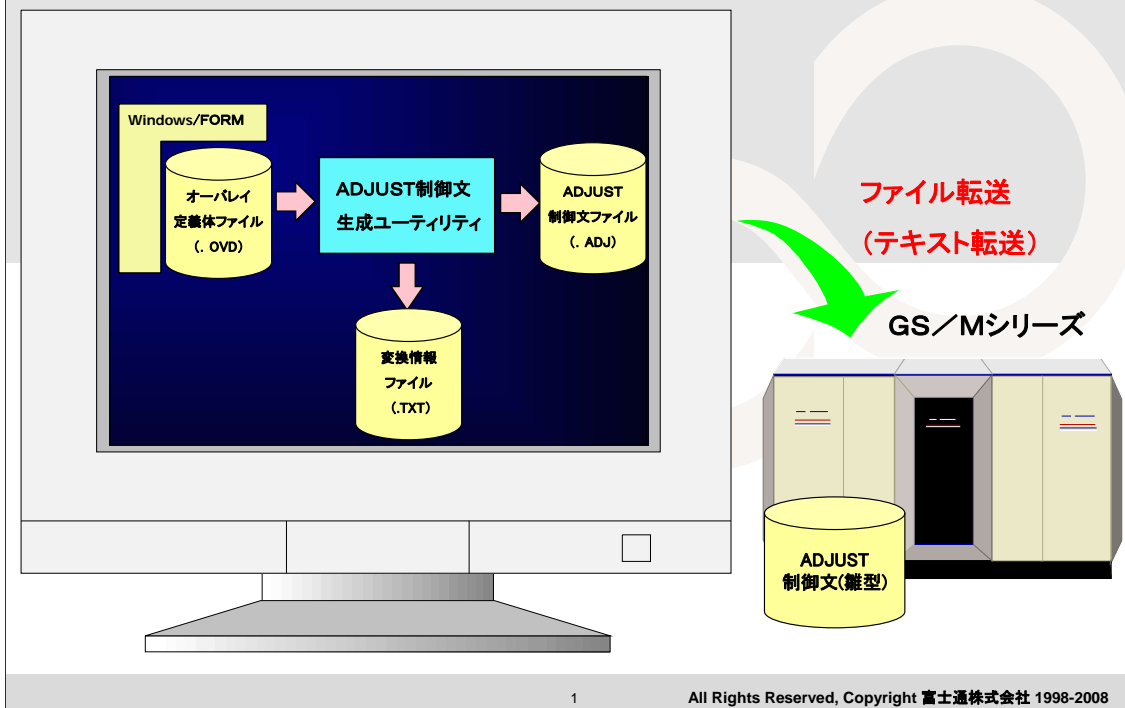
ADJUST制御文生成ユーティリティ V2.0 ご紹介資料

第3版

富士通株式会社

SIMPLIA/ADJUST制御文生成ユーティリティは、
WindowsのFORM V4.0L10以降のツール名がFORMのKOL2形式とKOL5形式、および、ツール名がPowerFORMの
GS用形式で保存されたオーバーレイ定義体ファイル(.OVD)をADJUST制御文ファイル(.ADJ)に変換する製品です。
(上記以外のオーバーレイ定義体ファイルはサポートしていません。上記以外のオーバーレイ定義体ファイルを
ADJUST制御文ファイルに変換したい場合は、WindowsのFORM V4.0L10以降により一度更新する必要があります。)

機能概要



1

All Rights Reserved, Copyright 富士通株式会社 1998-2008

機能概要

SIMPLIA/ADJUST制御文生成ユーティリティは、WindowsのFORM V4.0L10以降のツール名がFORMのKOL2形式とKOL5形式、および、ツール名がPowerFORMのGS用形式で保存されたオーバーレイ定義体ファイル(.OVD)をADJUST制御文ファイル(.ADJ)に変換する製品です。

当製品を利用することにより、WindowsのFORMで作成したオーバーレイ定義体(.OVD)をGS/MシリーズのADJUSTのADJUST制御文の雛型として利用することができます。

(240dpi表現で1~2ドットのずれが発生する場合がありますので、生成されたADJUST制御文は必要に応じて修正を行ってください。)

なお、変換結果が変換情報ファイル(.TXT)としてテキスト形式で出力されますので、KOL2形式またはKOL5形式のADJUST制御文エラー箇所の確認などが容易に行えます。

(KOL2形式およびKOL5形式以外のADJUST制御文エラーは検出できませんので、GS/MシリーズのADJUSTによるADJUST制御文エラー検出を行ってください。)

生成したADJUST制御文ファイル(.ADJ)をGS/Mシリーズへ転送する機能は保有していません。

(GS/Mシリーズへ転送する場合は、80バイト固定長のテキストファイルとしてテキスト転送してください。)

起動方法

1. 通常の起動

「スタート」メニューから「ADJUST制御文生成ユーティリティ」を選択して起動します。

2. アイコンからの起動

「ADJUST制御文生成ユーティリティ」のアイコンをダブルクリックして起動します。

3. ドラッグ & ドロップを使った起動

「エクスプローラ」や「マイコンピュータ」などのアプリケーション上で選択したオーバーレイ定義体(.OVD)を「ADJUST制御文生成ユーティリティ」のアイコンにドラッグ & ドロップして起動します。

4. DOSコマンドラインからの起動

「DOSプロンプト」のコマンドライン上で以下の形式で実行します。

[コマンド]

```
C:¥Program Files¥SIMPLIA¥ADJUST_UTY>Adjuty.exe data1.ovd data2.ovd ...
```

EXE名

変換元ファイル名

起動方法

1. 通常の起動

「スタートメニュー」メニューの「プログラム」メニューに登録されているグループ「SIMPLIAシリーズ」から「ADJUST制御文生成ユーティリティ V2.0」メニュー内の「SIMPLIA ADJUST制御文生成ユーティリティ」を選択する方法。
「[ADJUST制御文生成ユーティリティ] ダイアログボックス」が表示されます。

2. アイコンからの起動

「ADJUST制御文生成ユーティリティ」のアイコンを作成し、ダブルクリックにより起動する方法。
「[ADJUST制御文生成ユーティリティ]ダイアログボックス」が表示されます。

3. ドラッグ & ドロップを使った起動

「エクスプローラ」や「マイコンピュータ」などで変換元のオーバーレイ定義体(.OVD)を選択し、「ADJUST制御文生成ユーティリティ」のアイコンにドラッグ & ドロップして起動する方法。

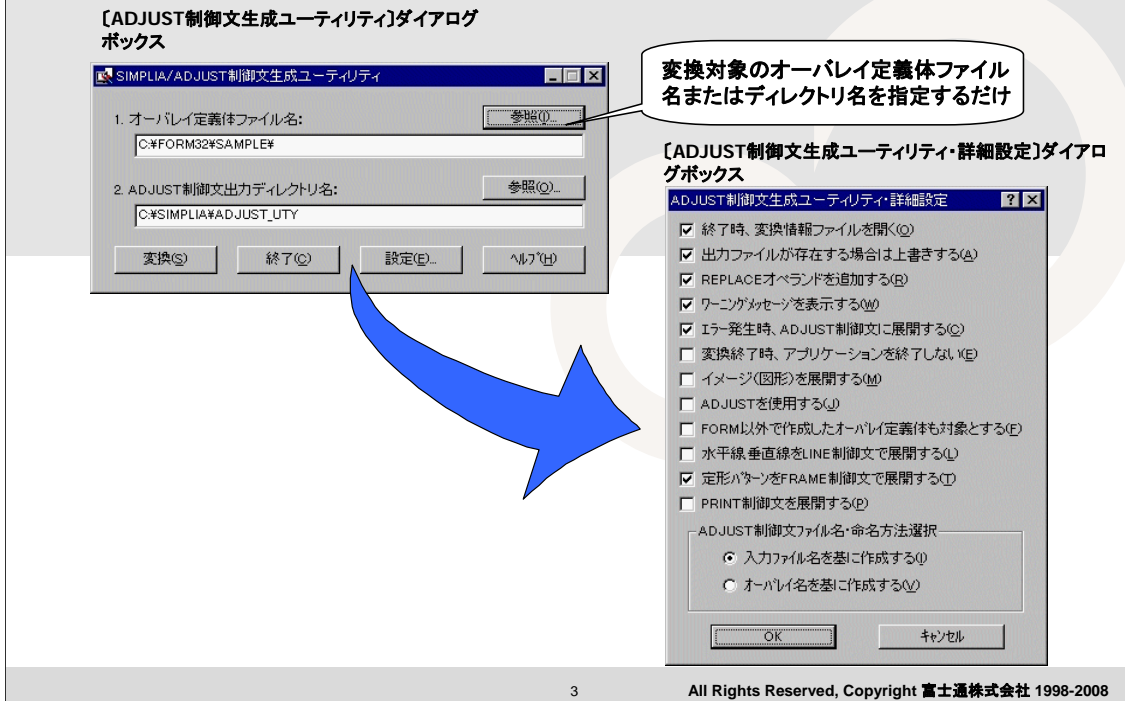
変換処理が実行され変換状況を通知する「[ADJUST制御文生成 - インフォメーション]ダイアログボックス」が表示されます。

4. DOSコマンドラインからの起動

DOSプロンプトのコマンドラインより「ADJUST制御文生成ユーティリティ」の実行ファイルを起動する方法。
変換処理が実行され変換状況を通知する「[ADJUST制御文生成 - インフォメーション]ダイアログボックス」が表示されます。

いずれの方法においても解析対象ファイルは複数選択可能ですので一括変換することができます。

画面説明



3

All Rights Reserved, Copyright 富士通株式会社 1998-2008

画面説明

ADJUST制御文生成ユーティリティを通常起動すると表示される「[ADJUST制御文生成ユーティリティ]ダイアログボックス」で変換対象のオーバーレイ定義体ファイル名を指定、または、ディレクトリ名での指定で簡単に変換することができます。(ディレクトリ名での指定時は、そのディレクトリ配下のすべてのオーバーレイ定義体ファイル(OVD)を対象として一括変換します。ただし、サブディレクトリ配下は対象外です。)

WindowsのADJUST V2.1L10以降を使用することにより、外字の変換も可能です。また、「[ADJUST制御文生成ユーティリティ・詳細設定]ダイアログボックス」より以下のような動作設定を行なうことができます。

- ① [終了時、変換情報ファイルを開く]チェックボックス
変換結果情報が格納された変換情報ファイル(.TXT)を変換完了の際表示するかどうか、設定を行ないます。
- ② [出力ファイルが存在する場合は上書きする]チェックボックス
変換先ディレクトリに同名のADJUST制御文ファイル(.ADJ)が存在している場合、上書きするかどうか設定を行ないます。
- ③ [REPLACE文を追加する]チェックボックス
ADJUST制御文ファイル(.ADJ)内の「NAME」オペレーションに「REPLACE」オペランドを追加するかどうか、設定を行ないます。
- ④ [ワーニングメッセージを表示する]チェックボックス
変換の際に発生したワーニングレベルのメッセージを変換情報ファイル(.TXT)に書き込むかどうか、設定を行ないます。
- ⑤ [エラー発生時、ADJUST制御文に展開する]チェックボックス
オーバーレイ定義体ファイル(OVD)内で、エラーが発生した図形をADJUST制御文に展開するかどうか、設定を行ないます。
- ⑥ [変換終了時、アプリケーションを終了しない]チェックボックス
変換終了時、アプリケーションを終了するかどうか、設定を行ないます。
- ⑦ [イメージ(図形)を展開する]チェックボックス
オーバーレイ定義体ファイル(OVD)内に図形の「イメージ」が指定されている時に、「イメージ」をADJUST制御文に展開するかどうか、設定を行ないます。
- ⑧ [ADJUSTを使用する]チェックボックス
オーバーレイ定義体ファイル(OVD)内の「オーバーレイ文字列」で、JEF拡張漢字が使用されている時にJEF拡張漢字を展開するかどうか、設定を行ないます。
- ⑨ [FORM以外で作成したオーバーレイ定義体も対象とする]チェックボックス
この機能は、前バージョン・レベルからの互換機能です。
この機能により展開されたADJUST制御文は、その内容を保証しないため展開された制御文を目視により確認する必要があります。
- FORM以外で作成されたオーバーレイ定義体をADJUST制御文生成の対象にするかどうか、設定を行ないます。
※ FORM以外とは、WindowsのFORM V4.0L10以降のツール名がFORMのKOL2形式とKOL5形式、および、ツール名がPowerFORMのGS用形式で保存された以外のオーバーレイ定義のこと。
- ⑩ [水平線・垂直線をLINE文で展開する]チェックボックス
水平線・垂直線をそれぞれHLINE文/VLINE文で展開せず、LINE文で展開するかどうか、設定を行ないます。
- ⑪ [定型パターンをFRAME制御文で展開する]チェックボックス
定型パターンをFRAME制御文で展開するかどうか、設定を行ないます。
- ⑫ [PRINT制御文を展開する]チェックボックス
PRINT制御文を展開するかどうか、設定を行ないます。
- ⑬ [ADJUST制御文ファイル名 命名方法選択]フレーム
ADJUST制御文ファイル名の命名規約を選択します。(詳細は次ページ参照)

出力結果

```

Daityou@d - コントロール
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ヘルプ(H)
1
MANNER CHAR(5,6) FORM(44) PORT
NAME TYOU_REPLACE_COMMENT(' ')
SHADOW UL(1,00,5,98) LRC(4,50,22,98) DARKNESS(2)
,CORNER(0,42,UL)
SHADOW UL(13,00,9,98) LRC(16,50,12,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(18,50,14,98) LRC(22,50,15,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(30,50,14,98) LRC(34,00,15,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(13,00,20,98) LRC(16,00,21,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(22,50,20,98) LRC(25,50,21,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(30,50,20,98) LRC(32,50,21,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(4,50,21,98) LRC(30,00,22,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(1,00,25,98) LRC(4,50,30,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(19,00,25,98) LRC(22,00,30,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(30,50,25,98) LRC(32,00,30,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(1,00,30,98) LRC(30,00,31,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(1,00,36,98) LRC(5,00,43,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(10,50,36,98) LRC(13,50,38,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(19,50,36,98) LRC(24,00,39,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(29,50,36,98) LRC(32,50,38,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(1,00,43,98) LRC(30,00,44,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(1,00,54,98) LRC(5,50,63,98) DARKNESS(2)
,CORNER(0,42,UL)
SHADOW UL(13,50,54,98) LRC(38,00,55,98) DARKNESS(2)
SHADOW UL(13,50,61,98) LRC(17,50,63,98) DARKNESS(2)
FRAME SQUJL(12,50,0,97) LRC(30,00,4,97) THICK(2)
SHADOW ,CORNER(0,53)
SHADOW UL(12,50,0,98) LRC(26,00,4,98) DARKNESS(9)
,CORNER(0,53)
HLINE SP(1,00,8,90) LENGTH(30,50) THICK(2)
VLINE SP(4,50,6,00) LENGTH(24,97) THICK(2)
HLINE SP(18,50,15,90) LENGTH(19,50) THICK(2)
VLINE SP(5,00,37,00) LENGTH(66,97) THICK(2)
HLINE SP(5,50,55,00) LENGTH(66,97) THICK(2)
VLINE SP(1,00,20,95) LENGTH(37,00) THICK(2)
HLINE SP(1,00,21,95) LENGTH(37,00) THICK(2)
HLINE SP(1,00,22,95) LENGTH(37,00) THICK(2)
HLINE SP(1,00,23,95) LENGTH(37,00) THICK(2)
HLINE SP(1,00,24,95) LENGTH(37,00) THICK(2)
HLINE SP(1,00,24,95) LENGTH(37,00) THICK(2)

```

ADJUST制御文ファイル(.ADJ)
オーバーレイ定義体より変換された
ADJUST制御文が出力されます。

変換情報ファイル(.TXT)
変換結果(エラーメッセージ等)が出力
されます。

```

ADJUST制御文生成ユーティリティ
実行開始日時: 1999年08月06日 15時40分32秒

★C:\FORM32\SAMPLE\OVDaityou.ovd
ADJUST制御文変換処理が正常に終了しました。
網掛け: 左上位置(0,0,98) 右下位置(9,00,22,98)
W01: [網掛け]領域の色、標準色以外が指定されていますが、色指定は無視しました。
網掛け: 左上位置(45,00,20,98) 右下位置(51,00,21,98)
W01: [網掛け]領域の色、標準色以外が指定されていますが、色指定は無視しました。
網掛け: 左上位置(25,00,0,97) 右下位置(32,00,4,97)
W01: [網掛け]領域の色、標準色以外が指定されていますが、色指定は無視しました。
網掛け: 左上位置(5,00,21,98) 右下位置(30,00,22,98)
W01: [網掛け]領域の色、標準色以外が指定されていますが、色指定は無視しました。
水平線: 開始位置(1,00,8,90)
W01: [線]の色、標準色以外が指定されていますが、色指定は無視しました。
網掛け: 左上位置(4,50,6,00) 右下位置(14,98,14,98)
W01: [網掛け]領域の色、標準色以外が指定されていますが、色指定は無視しました。
W01: [線]領域の色、標準色以外が指定されていますが、展開しませんでした。
文字列: 開始位置(30,50,4,00)
W014: 文字列の書体にゴシック半角か、明朝半角が使われています。
文字列: 開始位置(17,18,40)
W014: 文字列の書体にゴシック半角か、明朝半角が使われています。
文字列: 開始位置(17,18,40)
W014: 文字列の書体にゴシック半角か、明朝半角が使われています。
文字列: 開始位置(37,00,22,00)
W014: 文字列の書体にゴシック半角か、明朝半角が使われています。
ADJUST制御文生成ユーティリティ
実行終了日時: 1999年08月06日 15時40分34秒

```

出力結果

ADJUST制御文ファイル(.ADJ)

オーバーレイ定義体(.OVD)から変換したADJUST制御文が作成されます。
 作成されるファイル名は「[ADJUST制御文生成ユーティリティ・詳細設定]ダイアログボックス」で「入力ファイル名を基に作成する」、「オーバーレイ名を基に作成する」より選択できます。

- ・「入力ファイル名を基に作成する」
 オーバーレイ定義体(.OVD)のファイル名の拡張子を.ADJに変更したものがADJUST制御文ファイル名になります。
- ・「オーバーレイ名を基に作成する」
 オーバーレイ定義体ファイル形式(KOL2/KOL5) + オーバーレイ定義体ファイル名の後ろ4文字がADJUST制御文ファイル名になります。

【例】
 SAMPLE.OVD (FORM(KOL2形式)) → KOL2MPLE.ADJ
 TEST.OVD (FORM(KOL5形式)) → KOL5TEST.ADJ
 ADJUST.OVD(PowerFORM(GS用形式)) → KOL2JUST.ADJ

変換情報ファイル(.TXT)

オーバーレイ定義体ファイル(.OVD)をADJUST制御文ファイル(.ADJ)に変換した際の変換結果が出力されます。
 ファイル名は解析を行なった時点の西暦下2桁と日付及び、時間(24時間制)で作成されます。
 再度同一時間内(分単位)に変換作業を行なった場合、既存の変換情報ファイル(.TXT)に変換結果が追加されます。

製品・動作環境一覧

Windows版	バージョンレベル	価格(千円)	プログラムサポート	
			月額(千円)	年額(千円)
SIMPLIA/ADJUST制御文生成ユーティリティ V2.0	V2.0L10	1800	—	—
SIMPLIA/ADJUST制御文生成ユーティリティ V2.0 1コピーライセンス	V2.0L10	10	—	—

ハードウェアカテゴリ	条件
動作マシン	Windows® 2000, Windows® XP が動作するマシン
動作可能メモリ容量	16MB以上
格納先ハードディスク容量	1.0MB 以上

必須/関連ソフトウェア	バージョンレベル	必須	関連	備考
Windows® 2000 Windows® XP		○		左記のいずれかのOSが必要です。 Windows® Vista上での動作保証は、今後の製品エンハンスを含め実施致しません。 (将来、Windows® 2000、または、Windows® XP からWindows® Vistaへの移行が予想される場合はご注意ください。)
ADJUSTまたは SystemWalker/CharsetMGRまたは Interstage Charset Manager	V2.1L10以降 V5.0L10 V6.0L10以降		○	富士通標準のコード変換を使用する場合、左記のいずれかのソフトウェアが必要です。

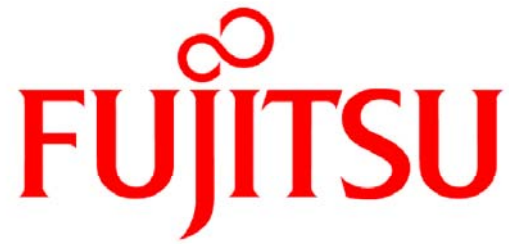
SIMPLIA/ADJUST制御文生成ユーティリティは、Windows® 2000、または、Windows® XP上で動作可能です。

なお、Windows® Vista上での動作保証は、今後の製品エンハンスを含め実施致しません。

(将来、Windows® 2000、または、Windows® XP からWindows® Vistaへの移行が予想される場合は
ご注意ください。)

OS以外の必須ソフトはありません。

関連ソフトウェアとして、富士通標準のコード変換を使用する場合に、ADJUST V2.1L10以降、または、
SystemWalker/CHarsetMGR V5.0L10、または、Interstage Charset Manager V6.0L10以降が必要です。

The Fujitsu logo is centered at the top of the page. It features a red infinity symbol (∞) positioned above the word "FUJITSU". The word "FUJITSU" is written in a bold, red, serif typeface. The entire logo is contained within a thin black rectangular border.

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE